

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月5日

上場会社名 株式会社あみやき亭 上場取引所 東名
 コード番号 2753 URL <https://www.amiyakitei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 啓介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田村 剛 TEL 0568-32-8800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	27,612	5.6	1,410	△26.4	1,508	△23.8	827	△30.4
	26,137	8.0	1,917	39.5	1,980	38.3	1,188	53.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 827百万円 (△30.4%) 2025年3月期第3四半期 1,188百万円 (53.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 40.30	円 銭 40.29
2025年3月期第3四半期	57.86	57.85

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 28,913	百万円 22,082	% 76.4
2025年3月期	27,810	21,941	78.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 22,079百万円 2025年3月期 21,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 51.00	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 —
2026年3月期	—	17.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期期末の配当金は51円、年間配当金合計は102円であり、また、2026年3月期第2四半期末及び期末の配当金(予想)はそれぞれ51円であり、年間配当金合計は102円になります。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 38,600	% 9.2	百万円 2,200	% △16.6	百万円 2,300	% △15.6	百万円 1,220	% △29.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	20,546,400株	2025年3月期	20,546,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	630株	2025年3月期	1,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	20,545,570株	2025年3月期 3Q	20,544,870株

※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響や米国の通商政策の影響による景気の下振れや金融資本市場の変動など先行きには不透明感があります。

外食産業におきましては、インバウンドや連休需要などで来店機会は底堅いものの、節約志向の強まりや天候要因を受けて客数の伸びが鈍る局面もみられました。物価上昇を背景に客単価は上昇基調で推移したものの、節約志向の高まりから価格転嫁には一定の制約があり、原材料価格、人件費などのコスト上昇が収益を圧迫する状況が継続しております。

このような事業環境のもと、当社グループは「和牛一頭買い」による仕入れを積極的に推進し、厳選した国産牛肉をリーズナブルな価格で提供することで、商品の差別化と競争力の強化に努めてまいりました。これにより、希少部位を含む多彩なメニュー展開が可能となり、お客様に新たな価値提案と選択の幅を広げてまいりました。

また、期間限定フェアや特別メニューの導入、会員サービスの充実、ホームページを活用した情報発信などの販売促進策を通じて来店動機の創出およびリピーター獲得に取り組むとともに、SNSを活用した情報発信および顧客接点の強化を目的としてSNS推進室を設置し、担当役員を配置するなど体制整備を進めてまいりました。

これらの各種販売促進施策の効果により売上高は前年同期を上回ったものの、期首から継続する原材料価格の高騰に加え、人手不足を背景とした人件費および物流費の上昇、さらには販売促進活動の強化に伴う関連費用の増加などにより、コスト負担が増加しました。加えて、物価上昇下における価格転嫁には一定の制約があり、コスト上昇分を十分に吸収するには至らなかったことから、增收となったものの、営業利益以下の各利益段階においては減益となりました。

店舗数につきましては、クーデーションカンパニー株式会社（以下、クーデーション）の新規連結による24店舗（焼肉事業9店舗、レストラン事業3店舗、その他事業12店舗）に加え、9店舗（レストラン事業7店舗、焼鳥事業2店舗）を新規出店し、7店舗（焼肉事業5店舗、レストラン事業1店舗、その他事業1店舗）を業態変更し、1店舗（焼肉事業1店舗）を移転オープンしたほか、8店舗（焼肉事業6店舗、焼鳥事業2店舗）を撤退した結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は313店舗となりました。

なお、クーデーションのみなし取得日が2025年8月31日となりますので、当第3四半期連結会計期間の期首より同社の業績を含めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高27,612百万円（前年同期比5.6%増）となった一方で、物価高騰による原材料価格等の高止まり、人材確保難を背景とした人件費・物流費の増加、販促活動費の増加により、営業利益1,410百万円（前年同期比26.4%減）、経常利益1,508百万円（前年同期比23.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益827百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、166店舗であります。

内訳は、「あみやき亭」86店舗、「あみやき亭PLUS」7店舗、「どんどん」6店舗、「ほるたん屋」13店舗、「スエヒロ館」21店舗、「かるび家」1店舗、「ブラックホール」4店舗、「ホルモン青木」8店舗、「ホルモンセンター」他9店舗、「百名山」1店舗、松阪牛焼肉「きらく」1店舗、「チファジヤ」9店舗であります。

以上の結果、焼肉事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,181百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、52店舗であります。

内訳は、「美濃路」36店舗、「みの路」7店舗、「もつしげ」9店舗であります。

以上の結果、焼鳥事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,926百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

<レストラン事業>

レストラン事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、70店舗であります。

内訳は、「感動の肉と米」52店舗、レストラン「スエヒロ館」14店舗、「グリルスエヒロ館」1店舗、ステーキ「正義」3店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は7,070百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

<その他の事業>

その他事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、25店舗であります。

内訳は、精肉小売店「お肉の工場直売市」1店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」2店舗、居酒屋「楽市」2店舗、寿司業態の「すしまみれ」2店舗、しゃぶしゃぶ島津1店舗、「とりとん」他5店舗、ラーメン「たかばし」11店舗、「肉のジャンボ市」1店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,433百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、28,913百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,102百万円増加しました。主な要因は土地の増加によるものです。

負債総額は、6,831百万円となり、前連結会計年度末と比較し、961百万円増加いたしました。主な要因は長期借入金の増加によるものです。

純資産額は、22,082百万円となり、前連結会計年度末と比較し、141百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年10月3日の「第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	9,483	7,495
預け金	368	673
売掛金	13	23
商品及び製品	106	152
原材料及び貯蔵品	1,068	718
未収入金	984	1,289
その他	295	406
流动資産合計	12,319	10,758
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,055	5,834
構築物（純額）	347	404
機械及び装置（純額）	330	348
車両運搬具（純額）	7	7
工具、器具及び備品（純額）	303	365
土地	3,009	4,107
建設仮勘定	16	14
有形固定資産合計	9,069	11,082
無形固定資産		
ソフトウェア	15	32
のれん	2,108	2,888
その他	9	9
無形固定資産合計	2,133	2,930
投資その他の資産		
長期貸付金	521	501
繰延税金資産	1,227	1,002
差入保証金	1,434	1,518
投資不動産	290	289
その他	813	831
投資その他の資産合計	4,287	4,142
固定資産合計	15,491	18,154
資産合計	27,810	28,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,316	1,516
短期借入金	300	300
1年内償還予定の社債	30	15
1年内返済予定の長期借入金	104	172
未払金及び未払費用	1,403	1,627
未払法人税等	469	174
契約負債	133	206
賞与引当金	111	95
株主優待引当金	13	24
その他	528	818
流動負債合計	4,411	4,950
固定負債		
長期借入金	271	604
リース債務	606	610
退職給付に係る負債	7	7
資産除去債務	502	561
その他	70	96
固定負債合計	1,458	1,880
負債合計	5,869	6,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,427
利益剰余金	17,040	17,179
自己株式	△2	△0
株主資本合計	21,939	22,079
新株予約権	2	3
純資産合計	21,941	22,082
負債純資産合計	27,810	28,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	26,137	27,612
売上原価	10,038	11,119
売上総利益	16,099	16,492
販売費及び一般管理費	14,181	15,082
営業利益	1,917	1,410
営業外収益		
受取利息	9	19
受取賃貸料	26	28
協賛金収入	8	16
受取補償金	—	19
その他	25	23
営業外収益合計	71	107
営業外費用		
支払利息	4	4
匿名組合投資損失	1	1
不動産賃貸費用	2	1
その他	—	2
営業外費用合計	8	9
経常利益	1,980	1,508
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	49	73
特別利益合計	49	73
特別損失		
固定資産除却損	26	34
減損損失	78	107
賃貸借契約解約損	—	1
その他	1	—
特別損失合計	107	143
税金等調整前四半期純利益	1,922	1,438
法人税、住民税及び事業税	582	520
法人税等調整額	151	90
法人税等合計	733	610
四半期純利益	1,188	827
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,188	827

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,188	827
四半期包括利益	1,188	827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,188	827

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	レストラン 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	16,673	2,772	5,513	24,959	1,178	26,137
外部顧客への売上高	16,673	2,772	5,513	24,959	1,178	26,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,673	2,772	5,513	24,959	1,178	26,137
セグメント利益	1,325	269	412	2,007	58	2,066

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,007
「その他」の区分の利益	58
全社費用（注）	△149
四半期連結損益計算書の営業利益	1,917

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「焼肉事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては78百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	焼肉事業	焼鳥事業	レストラン 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	16,181	2,926	7,070	26,179	1,433	27,612
外部顧客への売上高	16,181	2,926	7,070	26,179	1,433	27,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,181	2,926	7,070	26,179	1,433	27,612
セグメント利益	827	256	437	1,521	58	1,579

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、居酒屋事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,521
「その他」の区分の利益	58
全社費用（注）	△168
四半期連結損益計算書の営業利益	1,410

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「焼肉事業」、「レストラン事業」及び「その他の事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては107百万円、「焼肉事業」にて36百万円、「レストラン事業」にて48百万円、「その他の事業」にて22百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	602百万円	649百万円
のれんの償却額	150	170